

伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成27年7月分）

1．伊方発電所1、2号機 放水口水モニタの指示上昇について

7月1日4時50分、伊方発電所1、2号機放水口水モニタの有意な指示上昇を示す「10分平均注意」の信号が発信しました。

当時、発電所周辺は雨が降っていたこと、同日5時1分に放水口内の海水を採取して分析した結果、人工核種は検出されなかったことから、降雨による自然変動と判断しました。

(参考) 伊方発電所1、2号機放水口水モニタ

伊方発電所1、2号機放水口内の海水の放射線量を測定しているモニタ。3号機にも同様の放水ピット水モニタがある。

2．伊方発電所モニタリングポストNo.4の指示上昇について

7月1日6時10分、伊方発電所周囲の敷地境界に設置しているモニタリングポストNo.4の有意な指示上昇を示す「10分平均注意」の信号が発信しました。

当時、発電所から放射性気体廃棄物の放出は実施しておらず、排気筒のモニタ指示値にも異常は認められませんでした。また、発電所周辺は雨が降っていたこと、発電所周辺に設置しているほかのモニタリングポストの指示値も上昇していることから、降雨による自然変動と判断しました。

(参考) モニタリングポスト

伊方発電所敷地周辺の4箇所に設置しており、設置場所周辺の大気中の放射線量を測定している。

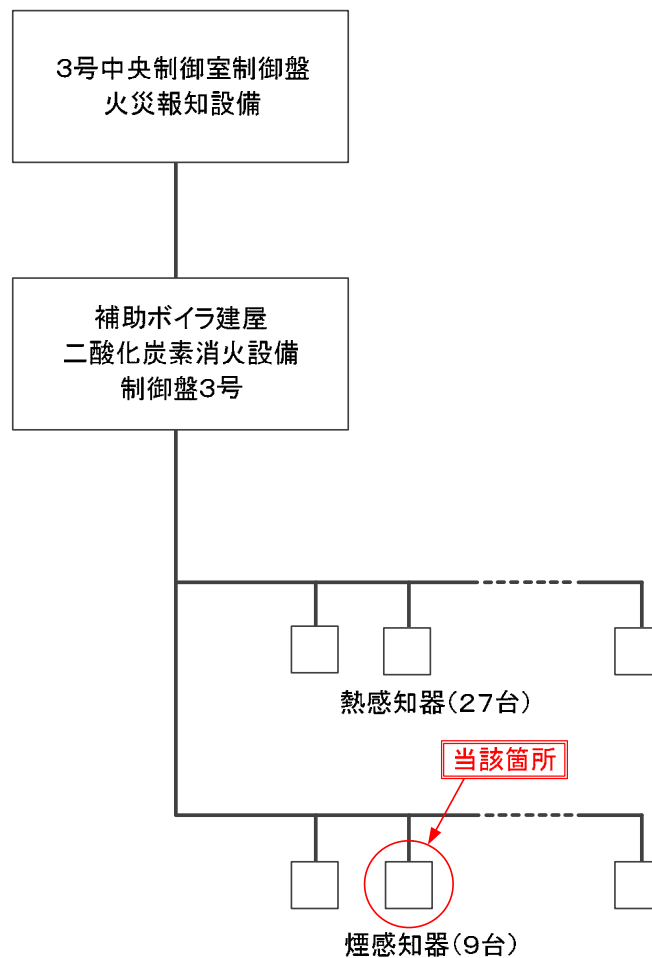
3 . 伊方発電所 3 号機 補助ボイラ室内の火災感知器の不具合について

7月1日6時56分、定期検査中の伊方発電所3号機の中央制御室において、補助ボイラ室の火災の発生を示す信号が発信したことから直ちに現地確認を行い、火災のないことを確認しました。

現場調査の結果、補助ボイラ室内に設置している火災感知器のうち、煙感知器の1台に不具合があると判断しました。

その後、当該感知器を取替えて動作確認を行い、11時10分に通常状態へ復旧しました。

伊方発電所 3 号機 補助ボイラ室消火設備 信号概略図



4．伊方発電所における地震感知について

7月3日4時55分頃、伊予灘付近を震源とする地震が発生し、伊方発電所において最大3ガルを観測しましたが、伊方発電所の設備に異常はありませんでした。

(参考) 伊方発電所の観測ガル数

- 1号機： 3ガル (定期検査中)
- 2号機： 3ガル (定期検査中)
- 3号機： 検知せず (定期検査中)

5．伊方発電所における地震感知について

7月13日2時52分頃、大分県南部付近を震源とする地震が発生し、伊方発電所において最大1.4ガルを観測しましたが、伊方発電所の設備に異常はありませんでした。

(参考) 伊方発電所の観測ガル数

- 1号機： 1.4ガル (定期検査中)
- 2号機： 1.3ガル (定期検査中)
- 3号機： 1.3ガル (定期検査中)

6．伊方発電所における地震感知について

7月24日17時53分頃、愛媛県南予地方を震源とする地震が発生し、伊方発電所において最大5ガルを観測しましたが、伊方発電所の設備に異常はありませんでした。

(参考) 伊方発電所の観測ガル数

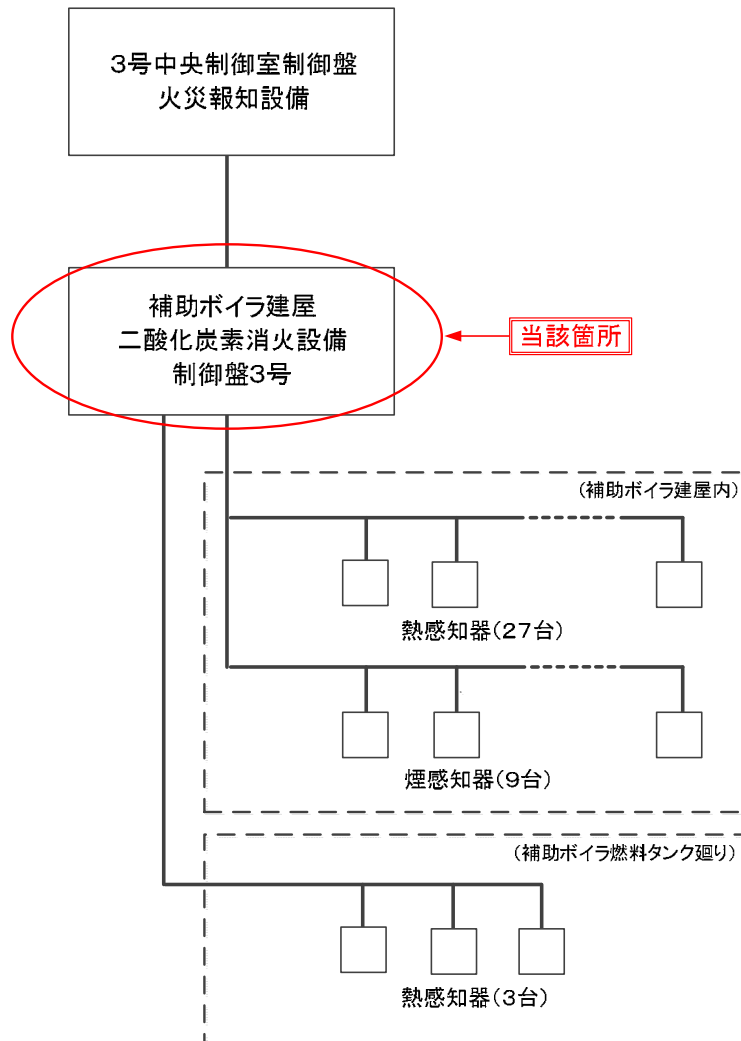
- 1号機： 3ガル (定期検査中)
- 2号機： 4ガル (定期検査中)
- 3号機： 5ガル (定期検査中)

7. 伊方発電所3号機 補助ボイラ建屋消火設備制御盤の不具合について

7月27日、定期検査中の伊方発電所3号機において、作業により停止していた補助ボイラ建屋二酸化炭素消火設備制御盤3号の復旧操作を行ったところ、同制御盤の異常を示す信号が発信しました。保守員が確認したところ、当該警報がリセットできないことから、同制御盤の設備異常と判断しました。

今後、原因について詳細に調査いたします。

伊方発電所3号機 補助ボイラ室消火設備 信号概略図



8．伊方発電所3号機の管理区域内における作業員の負傷について

7月28日、定期検査中の伊方発電所3号機の原子炉補助建屋（管理区域内）の地下2階において、協力会社の作業員が仮設送風機の向きを変えようとしたところ、羽根車に右手指を接触させ、負傷しました。

このため、同日10時52分に救急車で病院に搬送いたしました。

医師による診察の結果、「右示指挫創、右中指切断」と診断され、右中指については手術を受けました（不休傷）。

9．伊方発電所における作業員の体調不良について

7月29日、午前中に屋外にて伊方発電所3号機耐震性向上工事に伴う足場組立作業を実施していた作業員1名が、昼休み中に事務所にて体調不良を訴えたため、同日13時55分、社有車にて八幡浜市の病院に搬送しました。

医師による診察の結果、「急性腎不全、熱中症、脱水症 他」（約3週間の入院加療）と診断されました。